新京日日新聞
夕刊
八月廿七日（月）
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話二二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越内之介
本紙定價 一部金五錢 一ケ月金一圓二十錢 廣告料 普通一行 一圓 特別同 二圓五十錢

治法撤廢、行政移管（二）
反對陳情書全文
大連商議から各方面に發送

更に近く條約による日滿經濟會議の成果として特殊なる日滿經濟關係の發生を見る場合第三國の最惠國約款による均霑要求の生ずるは必然なりとせざるを得ずかゝる場合他如何なる第三國も持合さゞる完全なる絶對的且つ排他的鐵道附屬地行政權こそ第三國の平等的要求、最惠國約款均霑要求を絶對的且つ基本的に排除し得る唯一の特殊的存在ならずや、必然到來すべき第三國のこれらの要求を控へこれが唯一の排擊的武器を徒に放棄返還せんとするが如き殷鑑の遠からざるものあり、吾人の承服し難き處にして國際的環境裡に於て我特殊地位の超然的確保さるゝを見屆けたる後にこそ返還さるべきものなり、寧ろ、吾人はこの超然的確保の前提的全面的經濟工作こそ刻下專念の急務なりと痛感せざるを得ず　國内的諸情勢の改善向上滿洲帝國に於ける司法警察制度の確立はその第一義的前提なれ共、爲すに

「易々」たる形式的整備を謂ふに非ずして滿洲國官民の法治國民的精神訓練を重視せんとす、更に滿洲國民の土木事業に對する關心の增大、衛生に對する根本的觀念の變革等はその形式的技術的價値以上に評價さるべき重要性を有するものと認めらる、教育行政に於ては特に深甚なる考慮を拂はざるを得ず、凡そ、我國民教育は特有なる國體觀念の涵養を主眼とする一元的教育にして邦人兒童の教育は邦人の手に於てのみ行はるべきものたるを信じて疑はず、尤も、吾人は滿洲國の國内的改善向上に最善の協力をなすべき責務を分擔するに何等躊躇をなす者に非ざれ共、司法、警察に、土木、衛生に、就中教育に於て滿洲帝國の國内的諸情勢改善向上を如實に認識するに非ざれば鐵道附屬地を放棄返還するを欲せさる者なり、斯く鐵道附屬地行政權の返還はその適當なる時期の到來を待たざるべからざるも、在滿行政機構の改革に當りても鐵道附屬地と租借地關東州とは緊密なる經濟的聯繋を有し兩者の間には相互依存的發展性を有するものなることに留意を要す、從つて、租借地關東州と鐵道附屬地の行政權は一元的ならざるべからざるものにして、若し、兩者行政官廳を異にするが如きことあらんか、多年の經濟的聯繋は破綻し相互の發展を阻害するに至るは必然にして、最も戒心を要するや言を俟たざるものあり、更に進んで附屬地外の全滿に於ける邦人の經濟的活動をも一括同一機構の下に統轄し以て在滿邦人をして統制ある活躍をなさしむべきたり、希くば、滿洲に生活し活躍する邦人の實情と現地の情勢を熟視せられ在滿行政機構の改革に當りてはその經濟的影響に充分慎重なる

「考慮」を致されんことを、更に、日滿兩國經濟の相互依存的發展と在滿邦人の經濟的活動助成を主眼とする立憲法治的行政機構、即ち共同防衛に關しては軍部に、外交事項に關しては外務省に、行政産業に關しては拓務省に、而て之等の渾然たる融合的機構を創設せられ以て國策的見地より對滿行政を行はれんことを懇請して熄まざるものなり（完）

ハルビン日本人 七月末戸口

【ハルビン國通】七月末現在ハルビン日本人戸口は戸數三千五百卅二、人口一萬二千二百四十八人、六月に比し戸數二百五十八戸、人口約一千名の增加である

南滿の特産出廻り 三百四十萬キロトン
＝新京鐵道事務所の算定＝

滿洲特産の收穫實數については從來確たる資料なく推定數のみであつたが、第二回收穫豫想發表を控えて過般來新京鐵道事務所に於て出廻數量を基礎に之が算定を爲してゐるが南滿地方即ち開原、長公（新京、公主嶺）、京圖、奉吉各地方の出廻數量は左の如く二百六十萬八千八百四十七キロで奉天以南地方を合すれば南滿の總出廻は約三百四十萬キロトンなる

新京鐵道事務所管内

△開原地方
廻高　六六二、〇三八
院在貨　二一、五九一
總出廻高　六八三、六二九

△長公地方
出廻高　九六三、六三〇
院内在貨　七二、七九五
他線發四平街新京寛城子打切り計　一七八、五四四
總出廻高　八五七、八八一

△奉吉地方
總出廻高　二五六、四八六
總計　一、七九七、九九六

△京圖地方
他線方面
京圖線（下九臺以遠新京打切りを含む）
出廻高　五五一、五六五
院内在貨　七、六八〇
總出廻高　五五九、二四五

平齊線
出廻高　二二〇、九〇九
院内在貨　三〇、六九七
總出廻高　二五一、六〇六

奉天以南地方の出廻りを除いて南滿の總出廻高　二、六〇八、八四七

所澤機六機で 野外攻防演習

【東京國通】所澤—樺太間往復二五〇〇キロの野外攻防訓練飛行は、廿六日擧行され、精鋭六機は廿六日朝雨雲を衝いて所澤を出發した

ア中佐 シヤトルに空軍根據地新設主張

【リヴアーサイド廿五日發國通】アラスカ防空飛行隊長アーノルド中佐は廿五日米國は太平洋作戰上シヤトルに空軍根據地、アラスカに飛行場新設の必要を強調した

ハ市一帶の 洪水危機去る

【ハルビン國通】ハルビン一帶の洪水の危機も完全に去つたのでハルビン警察署では署員に對する待機命令を解除したが一方ハルビン對岸一帶でひ浮ひ上つて家主の涙を新にしてゐる、尚水害による呼蘭縣下の損害は夥しく同縣下七百餘村の農家四萬戸、人口三十萬の中罹災部落約五百餘村農民二十萬、全面積四十萬天地の中農耕地面積は卅四萬天地、其の中殆ど全滅的災禍を蒙つた農耕地面積は廿四萬天地、農作物の損害四百萬元、その他家屋、家財、家畜等の損害を加算すると同縣下の總額は一千萬元以上に達するだらうと言はれてゐる

合法左翼組合 再び擡頭か

【東京國通】一時華やかであつた合法左翼勞働組合は内部闘爭で分裂に再分裂し、諸組合は泥仕合を演じるに至つたが、最近共産黨は非常時の波に押されて左翼運動に終熄を告げ昔日の面影なく靜御の態度をとつて來たが五月頃より合法左翼の統一結成し全國統一強化に歩を進めつゝあつたが廿五日警視廳に戰線統一準備會開催の諒解を求めた、警視廳でも

「非合法的の行動に出ないかぎり兎や角言はぬ」

と語つて居り、實現の可能性あるものと觀られてゐる

農民生活權擁護聯盟結成
飯米差押へ禁止法案の猛運動

【東京國通】東京、茨城、長野、秋田、磐手、新潟の農民組合代表四十餘名は廿六日午後一時赤坂三會堂ビルに農民生活權擁護聯盟結成式を擧行し農民の飯米一ケ年差押へ禁止法案を次期議會を通過させる爲府縣を單位に委員を選んで全國的に猛運動を開始することになつた

米國銀國有令の 描く波紋（四）
今井英一

右の世界各國の協力による金銀兩本位制の實現如何に關しては昨夏ロンドンに於ける世界經濟會議の通貨問題に關する專門家準備委員會が「複本位制は金銀比價の一定關係を前提とするもので實行不可能と見なければならぬ」と指摘してゐる事實を想起しなければならぬ

かくてル氏の提唱にかゝる國際的協調案にして所詮大なる希望を懸ける餘地なきものとすればシムメタリズムこそ採用さるべき幣制であると或る專門家はいつてゐる、併しながらこのシムメタリズムなるものが一定の比價にて金銀を混合して新鑄貨を作るシムメタリズムなりや或はただ一定の割合で金銀を持つこ行けば紙幣をくれ或は別に紙幣に對して一定の割合で金銀をくれるシムメタリズムなりやは之を明らかにしてゐない

×

何れにしても斯くの如き貨幣制度は少くとも將來は相當考究せられる價値をもつものであるが今直ちにアメリカを金銀複本位制國或はシムメタリズム國にしやうとしてゐるのではない從つてアメリカの貨幣單位は現在通り「金ドル」であつて當分金本位を續けることゝ考へられる

×

之を要するに今回の新銀國有はアメリカの國内的工作であつてその效果はアメリカ内にのみ生ずるに過ぎないといふことが出來よう若しそれ銀國有により物價騰貴世界的銀價の恢復の大魔術的效果な招來するか將又アメリカを銀の十字架に結びつけかくして經濟的に磔殺するものなりやに對し確然たる見透をなすに當つては暫く借すに時日を以てしなければならぬ（完）

北鐵燃料炭缺乏
滿ソ兩國炭二十六萬噸購入

【ハルビン國通】北鐵當局は列車運行の原動力たる燃料大缺乏を告げたので沿海州のソ聯石炭十三萬噸、穆陵炭及び鶴岡炭十三萬噸を購入し約二ケ年間分の燃料を貯藏することとなつた

科學日本 二百キロワット 大眞空管完成

【東京國通】川崎の東京電氣工場では此程日本放送協會の百五十キロ放送實現に具へる爲長さ六尺、出力二百キロワットと云ふ世界にも珍らしい大眞空管の製作に美事成功した、之で百五十キロの放送機を作るとなると擴力百五十キロでも先頭出力は六百キロ位はいるので此大きな眞空管四個を使はなければならない相である、遞信省の技師が百キロに極るか百五十キロに極るか日本の今までの眞空管で技術的に出來るか否かの境を決するものとして技術者仲間から興味を以て觀られてゐたが此二百キロ管の出現で技術的の困難は或程度まで消滅された譯で國内の大きな誇りであると云はれてゐる

東亞の天地（長篇小說）
作 森嘉吉　畫 川路慶太郎

三三 赤化の奬勵（四）

赤化の奬勵と、魔の手は、く[illegible]つた。ソ聯の共産黨では、次のやうな新指令を設定して、滿洲國内の攪亂に着手した。

一、反日運動を再組織指導し、これを共産反帝運動に赤化せしめ、滿洲國内を攪亂せしむること、

二、匪賊士匪、馬賊を指導し、これに組織と武器を與へ、赤化すること。

三、不逞鮮人をパルチザン化せしめ、後方を攪亂し、人心の不安を驚らしむること。

—さうして、在來の諸機關、即ち、中央共産黨滿洲省委員會、北滿青年共産黨、青年戰鬪義勇隊等に對し、左の新職分を課し、滿洲國に、地方ソヴエート政府の樹立を企圖した。」

それは、前北鐵管理局總務部タイピスト係スミルノフ、フヨードルを、北滿共産黨委員會書記に。前北鐵管理局總務部報道課ガイドークを、北滿青年共産黨書記長に。前北鐵鐵道組合會計主任ノムチエンコ、北鐵管理局[illegible]主任セリコフ、ダリバンク。從業員スーホフを、北鐵鐵道組合[illegible]主任に。

青年戰鬪義勇隊は、匪賊、テロ、爆破、鐵路の任務を分擔し、要人暗殺、國際情報蒐集に當つた。爆破隊は、赤衞軍北東軍第四軍團長カリコフの指揮下に、直接間接と、國際の訓練をうけ、命により、鐵橋、主要建築物の爆破をはかる役であつた。滿洲國政府と、わが關東軍司令部はソヴエート府の陰險な仕方に、憤慨した。

ある日、ハルピンの民會公會堂に開かれた滿洲事變記念講演會に於て、ハルピン憲兵隊長、島本大佐は、演壇上の人となると「諸君！ 諸君は、第一線に立つてゐるのでありますぞ——」ハルピンは、この二三年すれば、足腰立たぬ者も、松花江、黑龍江に、その身を埋める時が來るのであります。勿論、日本は、その時は、足腰の立たぬ者以外は、この國難に總動員されるのであります。兼ねていふが諸君、諸君は、第一線にゐるのでありますぞ」

熱した口調で叫んだ。聽衆は、感激の拍手をおくつた。

「諸君！ ソ聯のモロトフ首相は日本を徹底的にやると公言してゐる以上、ソ聯は、日本の敵であります。今夜、お歸りになつたら、諸君は、皆々に、お傳へ下さい、滿洲國事變は、未だ終結してはゐないことを。——日ソ親善と言つたところで、彼らがいふ、國境不可侵問題にしても、共産主義宣傳問題にしても、北鐵問題にしても、日本を打撃するといふ考へを、改めない以上は、親善も、出來ないではないか。私は、ソ聯に、その考へを、改める意志があれば、いつでも、日ソ親善に贊成であります。ところが、改めるかと聞けば、ソ聯人は、日本打倒は、國策だから、改められないと言ふのであります。彼らも、はつきりして居るのであります。これでは、今更、親切でもないではありませんか。國境の防備狀態に就して言へば、彼の國境にあの嚴重な防備をなしながら、滿洲國への不法侵入は、どうですか。私は、具體的に申せば、いくらでもあるのですが、發表を禁じられて居るのを遺憾とします。はつきりとした認識の上に立つて、信念をもつた國策を確立し、準備せねば、條約を破ることを、屁とも思はぬ野蠻人、ソ聯の[illegible]は、[illegible]ないのであります。」

この演說がおはつてから、島本大佐は、會場を出てその足で、すぐハルピンの警備にあたつた。

海軍條約廢棄通告 本年中に端的表明
九月四日の閣議迄に方針決定
海軍當局の意向

【東京國通】華府條約廢棄問題に就いて大角海相は全海軍の要望を擔つて各方面と接觸し、曩の二回に亘る五相會議に廢棄の必然性を力說した結果、岡田首相を始め陸、外、大藏關係各省も之に贊意を表するに至つたので、之が帝國政府の意向を速かに決定する要ありとし、岡田首相は來る卅一日遲くも九月四日の定例閣議に華府條約の廢棄を附議五相會議の諒解を首相より說明確認することとなつたが、廢棄通告の時期、手續は豫め定めず左の如き大方針のみを廟議として決定するものと觀られて居る

一、帝國政府は不利なる既存條約即ちワシントン條約の項目より脫却する爲之を破棄することに決定せり

一、廢棄通告は昭和九年十二月卅一日迄に爲すこと、通告日時に就いては海軍當局は外務省と隔意無き意見の交換を爲し、客觀的情勢を充分參酌して決行、在ワシントン帝國大使館より國務省に對し書翰を以て通達し以て確固不拔の我政府の所信を中外に端的に表明すること

廢棄通告は
我決意を中外に闡明するもの
＝末次長官語る＝

【横須賀國通】末次大將の率ゐる七十四隻の大艦隊は十日に亘る休養を終り、第二次訓練のため廿六日午後四時出港北太洋に向つた、尚ほ伏見軍令部總長宮殿下御統裁の下に擧行される大演習に參加、十月下旬大阪灣で解散の豫定で第一、第二兩艦隊の末次、高橋兩司令長官は、廿六日午前十一時着列車で夫々金剛、鳥海へ歸艦したが、車中左の如く語る

米國で南洋方面に新島を見付けたといふ話たが、日本人にもこんな勇敢さを欲しいものだ、軍縮全權を現役より出すといふ事も面白いが、大角海相は大臣だから不便もあらうし、若し右の職が無ければ最適任と思ふ、するのは、帝國の決意を中外に闡明し、次期會議に於て比率主義を捨て、全然自由の立場に立つて新條約を結ぶ用意ある事を表示するためだ

滿洲國辭令

國務院總務廳人事處長　皆川豐治
同　主計處長　松山令輔
法制局參事官　松木俠
給四級俸（各通）
參議府秘書局長　荒井靜雄
外交部總務司長　朱之正
給五級俸（各通）
民政部土木司長　王慶璋
同　土地局長　壽聿彰
黑龍江省公署教育廳長　王寶章
給四級俸（各通）
北滿特別區公署地畝處長　保康
給三級俸
熱河省公署總務廳長　中野琥逸
給五級俸
熱河省公署警務廳長　小林義信
財政部理財司長　田中恭
同　稅務司長　源田松三
交通部路政司長

司法部刑事司長　森田成之
同　民事司長　飯塚敏夫
文教部學務司長　青木佐治彥
同　禮教司長　上村哲彌
駐日本國公使館參事官　陳愁鼎
　　于靜遠
吉林省公署實業廳長　趙汝楳
給四級俸（各通）
吉林省公署秘書長　高乃濤
給一級俸
稅關長　安東一郎
同　兪紹武
同　稅務監督署長　劉啓彬
同　　袁慶紹衣
　　　康
同　鹽務署長　張承元
同　吉黑確運署長　高乃濟
　　孫旭昌
給四級俸（各通）　魏宗蓮

增稅の斷行
來年度實現は困難
廣範圍の財政整理を行ふ
大藏新財源を研究

【東京國通】增稅斷行は財源難の折柄焦眉の急となつてゐるが、種々の事情より來年度實現は困難なるため、大藏財務當局では之が一般的斷行は近き將來に讓り、充分なる調査研究を經て廣汎なる財政整理を行ふ可く企圖してゐる、從つて目下主計局で作成中の新財源捻出策は將來財政整理の楔機をなすものとして頗る注目されてゐる

明年度豫算 廿一億圓程度
苦慮する藏相の編成方針

【東京國通】十年度豫算編成は赤字公債により膨脹を續けて來た我國財政にとつては其將來に非常に重大なる影響を與へる程の重要性を有するのであるだけに、藤井藏相が編成方針に對して極めて慎重な態度を執つて＝言明＝を避け、各省の出豫算の一應聽取したる後、內外經濟關係を熟慮した上でなければ公債政策並に增收計畫は樹てられず、從つて豫算の限度に關しては斷案を下さないといふ意向を洩らしてゐるが、岡田內閣の原則を遵守すれば、十年度豫算の總額を廿一億圓を超過せしむる事は絕對に迴避せざるを得ない狀態であり、又增收計畫に就ては還從金繰入れ、郵便料引上げの如き何れも增稅を主とする方針であつて、主たる增稅は農村に於る均衡を始め、所謂財政整理の斷行を伴はずしては無意義であるため、實際問題として、近き將來は兎も角、明年より其實現を圖るは至難なる實情にあるので藏相としては目下計畫中の自然增收を加へた十四億數千萬圓の歲入豫算に約七億圓の赤字公債に財源を求め總額廿一億程度として收支の＝均衡＝を圖る外なく、從つて十年度豫算は大体に於て高橋藏相の編成せる九年度豫算と殆んど同樣の性質を出でざるものと觀られる

一般會計繼續費 既定額

【東京國通】明年度豫算新規要求概算に就き大藏省は各省の說明を聽取しつゝあるが愈よ九月査定に着手する筈で新規要求總額は今後提出の分と加へて十二億圓程度の見込みで本年度に比し二億圓程減じて居るが、右は基準豫算が膨脹した關係上形式上新規要求が減少したかに見へるだけである、明年度一般會計所屬繼續費既定額を見るに總額三億五千六百八十萬圓で陸海軍費が大半を占めて居る、其內譯は左の通り（單位千圓）

省	金額
內務省	二七七、六八二
大藏省	六、五六一
陸軍省	一二二、一九七
海軍省	一九七、四五一
司法省	四七二
文部省	二、二一四
農林省	二〇六
遞信省	一三

其他の省は既定費無し

在滿機構改革問題 拓務案極めて不利
翰長の折衷案に一縷の望み

【東京國通】在滿政治機構改革に關する陸軍、外務、拓務三省の主張は駐滿全權大使に對する命令系統の點に於て全く對立隔隔の實情にある爲、河田內閣書記官長は過日來鋭意之が折衷案の作成を急いで居るが、拓務省局課長連は一齊に在滿機構改革の成行きにつき心配し坪上次官は極度に樂觀して居るが拓務省案の採擇は陸外兩省の主張强硬なる爲及び專任拓相が無い等四圍の事情よりして頗る至難と觀られる、殊に滿鐵及び日滿電信電話會社に對する監督權は事實上陸軍の手に歸すべく、拓務省現在の對滿權限は完全に縮減せられ、拓務省存置の必要は愈々薄弱化し事態は拓務省廢止論の流の益々深刻化することゝなるとの見解を有し、事態の推移を尠からず憂慮し只一の樂觀者坪上次官を中心として各關係局課長は連日に亘り陸軍、外務、大藏各當局及び法制局筋の情勢に基き極力拓務案の主張貫徹を期すべく對策を協議して居るが、大勢は拓務省に執つて極めて不利な情勢に傾きつつある模樣で、河田翰長の調停手段に唯一の希望を懸けてゐる

蔣介石の股肱 藍衣社の全貌
壁經平氏縱橫談（四）

△服務大綱は互助、偵案、制裁、宣傳、發動等であつて、この中特筆すべきは「制裁」で九、一八事件に對する國民の決意の緊張が缺けることを戒めるため奸商その他の賣國的行爲をする腐敗した人間の殺害によつて制裁を行ふのである

△行動綱領
一、絕對服從　一、秘密嚴守
一、簡易質朴　一、嗜好禁止
一、信義尊重　一、同志紹介
一、財政公開　一、同志和睦
一、除籍處分

であつて、最後の除籍處分は殺害によつて行はれる、藍衣社の總裁ともいはれてゐる頭目は鄭士火といふ人間であるがこの鄭士火は事實上存在する人間ではなくて一說には蔣介石であるといはれてゐる

△區は七區に分れてゐる
第一區社—江蘇、浙江、福建、江西、安徽各省
第二區社—廣東、廣西、雲南、貴州各省
第三區社—湖北、湖南、四川、寧夏各省
第四區社—甘肅、陝西、山西各省
第五區社—河北、山東、察哈爾、綏遠、熱河各省
第六區社—奉天、吉林、黑龍江三省
第七區社—新疆省、青海、西藏、蒙古

であつて、この外天津藍衣社と北平藍衣社とが特別に組織されてゐる、滿洲における藍衣社即ち第六區社の活動の任務は主として滿洲國攪亂であつて、主要分子として馬宏爾、金珠子ほか約三百の優秀なる社員が潜入、活動して居りこれら尖鋭分子は大連、奉天ハルビン、新京等各地主要都市に在住して軍人、鐵道、郵便局方面に働きかけ相當活潑に動いてゐるらしく、その證據に滿洲國の機密が北平、天津に大小に限らず洩れてゐる 滿洲國としては藍衣社の活動に對して充分警戒しなくてはならないと思ふ（完）

海底の神秘を映畫に 農林の試み

【三崎國通】農林省では日本最初の試みとして廿六七の兩日三崎町油壺灣の海底の神秘を映畫フイルムに收め樣と計畫し下關市西松市松氏所有の潜航艇藻花號十噸に依賴廿五日午後四時三崎港に曳航した

愈よ政友會 內閣彈劾決行せん
臨時議會召集問題を中心に
政府態度注目さる

【東京國通】政友會の黨內事情は非常に複雜で、幹部總裁派の强硬態度は非常時に於る大政黨の態度で無い、援助若くは反對の何れにしても、政府の處置を見た上で決すべしとの非難の聲が漸次黨內に横溢し、舊政友系と國政一新會との間に中立ブロック結成の計畫もあり、一方政府が臨時議會召集の院議無視の不誠意な態度をとつてゐるため中立派も、農村救濟が傳統的精神に反する以上、現內閣を支持し得ずとの反政府的意向も復活し、幹部はこれに乘じ黨內の氣分統一に努力し居り、政府が調査會等に名を籍り臨時議會召集を有耶無耶にせば反政府空氣は一層激成され、通常議會には否應なしに內閣彈劾の軌道をたどるものと觀られてゐる

練習艦隊編成替
松下中將は軍令部へ

【東京國通】地中海方面を巡航して過般横須賀に歸港した練習艦隊磐手、淺間の兩艦は九月一日を以て編成替へとなり、明年度練習艦隊は八雲を旗艦とし淺間の兩艦で編成さるることとなつた、現司令官松下中將は大演習終了後十一月初旬軍令部出仕となり暫時閑職に就き軍令部第一部長島田繁太郎少將が新に司令官に補せられ、第一部長には第二水雷戰隊司令官阿武清少將が補せられる事に內定した、島田少將は十二月行はれる定期異動には中將に進級の筈、尚練習艦隊の遠洋航海は米國沿岸の巡航である

その日く

□在滿機構改革の拓務案影薄し現地案再檢討を提唱

□華府條約破棄通告迫る、いはゆる一九三五、六年の非常時は切迫しつゝあり

□國賊馬占山の舊部下大それたことを計畫、あの時片付けておくとよかつたに

□本社主催第二回排球選手權大會盛會裡に終了、勝敗は問ふところに非ず

□農安地方のペストなほ終熄の模樣なし涼氣迫らんとす警戒第一義

人事往來

▲松田芳助氏（哈市特別區警察處長）二十六日午後三時二十五分着哈市から
▲近藤事務官（關東廳）二十六日午後七時三十分着大連から
▲清水大佐（駐滿海軍部）同列車で鞍山より
▲岩佐少將（關東憲兵隊司令官）二十六日午後十時發奉天へ
▲十河信二氏（元滿鐵理事）廿七日午前七時着大連から
▲兒玉中將（第〇〇〇〇隊司令官）二十七日午前九時發チチハルへ

團体

▲岐阜縣教育團五名二十七日午後九時三十分着吉林から大和旅館投宿二十九日午前八時三十分發哈市へ
▲台灣總督鐵道局庭球部二十名二十七日午後三時二十五分歸京同日午後四時三十分發南行
▲同志社大學生十二名二十八日午前六時着太陽ホテル投宿二十九日午前八時三十分發哈市へ三十一日午後一時二十五分歸京同日午後四時三十分發南行豫定

皇軍將兵の活動で
治安確保された北滿概況（十三）

三、北衛地區治安維持狀況

イ、黑龍江省直轄區

第二期に於ける黑龍江省內の治安維持工作は關係各機關の獻身的努力と一般民衆の好意ある協力に依り極めて優秀なる成果を齎らしたのは一般の認むる處であつて、馬占山の背叛以來省內に跳梁せる匪賊は日滿兩國軍の徹底的擊滅に遭つて全く集團的威力を失ひ自衞能力薄弱なる部落に轉々として僅かにその余喘を保ちつゝあつたが、今や保甲制の擴充鞏化と共に安住の地を失ひ一路衰滅の悲運を辿りつゝあるは滿洲國社會史上の一大變革として特筆すべき事實である、更に省內に於ける滿洲國軍警の本來の使命に對する自覺並に保甲制に基く保甲牌長の職責遂行、自衞團の犧牲的活動等治安維持會創立後一年を出でざるに眞に隔世の感がある、これは偏へに日本軍が崇高なる道義觀念に基き偉大なる活模範を示し滿洲國軍警及び一般民衆を感化せる結果にして保甲牌長が進んで匪賊情報を關係各方面に速報し或は自衞團が全滅を期して匪賊と交戰する等の現實に觀て滿洲國治安維持の前途に全幅の信賴を置き得るものがある、最後に治安維持工作上の最大難事業と目された民間散在武器の徹底的回收が黑龍江省に於ては概ね豫定の如く第二期末に於て完了したことは奇蹟とも稱すべく眞に驚嘆に値する、元來滿洲に於ては銃器は生存上必要缺くべからざるものにして有產者は勿論無產の徒に至る迄衣食を廢し數百金を投じて銃器を購入し依つて以て其生存權を保護し得たる既往の歷史に鑑み一般滿洲國民衆が銃器に對する愛着心の如何に熾烈なるかを想像するに足る、斯くの如き貴重なる銃器を彼等が斷念して若干の賠償金を得て治安維持會に納附せる所以のものは一に日本軍に對する深厚なる信賴の念の表現に他ならぬのである、斯くて省內に於ては民間散在銃器總數約二十七萬挺中三月末日迄に回收したるもの實に十八萬挺の多きに及び殘餘の九萬挺は正式の手續を經て自衞團に貸與し又は個人に所有を許可したものである

ロ、黑河地區

黑河附近は元馬占山の根據地にしてその部將徐景德最後迄反滿抗日の旗幟を下ろさず、大同元年十二月漸く歸順し翌年二月馬作霖將軍の率ゐる黑龍江省騎兵第三旅が入黑してより逐次治安を回復せりと雖も政治の中心たる省城を離るること遠く邊境にして交通不便を極め且つ蘇聯邦と接壤せるため治安維持工作進捗せず各縣警察機關其他諸制度未だ幼稚を極め國境を托する能はず、黑龍江省中第三期に於て一層督勵指導を要する地區である

拓務第三次 滿洲移民
來月二回に入港

【東京國通】拓務省の第三次滿洲移民五百名中、現地教養者百名は既に吉林、黑龍江兩省內地に入植濟みであるが其外の內地教養者四百名に就ては來月上旬下旬の二回に分割して渡滿入植せしむる事となつた

府縣會議員總選擧
內務肅清を期す

【東京國通】全國の府縣會議員總選擧は明年の秋・明後年の一月にかけ北海道東京、神奈川、佐賀、島根、沖繩を除く四十府縣に一齊に執行される筈であるが、改正選擧法實施を機會に徹底的な選擧肅清を期する爲內務省では來議會が解散とならぬ限り現內閣が最初に直面する此地方總選擧を最も重要視し、內務省は改正選擧法一部適用、地方制度の改正並に選擧肅清運動具體化の準備を進める一方之が施行取締に遺漏無きを期し、明年度豫算に事務費並に取締費四十一萬圓を計上するに決定した

海外經濟
▲銀塊及爲替
倫敦銀塊　同先物　紐育銀塊　孟買銀塊　米英爲替　米日爲替　米支爲替　スチール株　アナゴンダ株　米綿
▲上海標金
現物　十二月限　一月限　三月限　五月限　七月限　昨日引　本日寄　歩値
▲上海日本向

▲上海倫敦向　▲上海紐育向　▲大連金鈔票　▲大連上海向　▲大連煙台向　▲阪神日米爲替

各地市場
▲大阪株式　▲同短期　▲大連株式　▲大阪三品　▲仁川期米　▲大連特産

奉取

新京市況
高粱　混保大豆十一月限　寄付　高値　引値　八月二十八日附鈔票對金票

現株仲値
滿洲建國債　中號五分利　特別五分利　一回四分利　二回四分利　朝鮮銀行　同新　正隆銀行新　滿洲取引所　大連五品代　滿蒙毛織　滿洲□麻　奉天製麻　周水土地　滿蒙土地　大連郊外土　滿洲土地　滿洲□業　東亞土木企　東亞煙草　同新　大連機械　滿蒙興業　日滿アルミ　滿洲工廠　滿洲製粉　同新　滿洲麥酒　南滿鑛業　滿洲セメント　南滿鐵道　同新　滿洲電信電話　同乙　東京株式新　大阪株式新　大阪商船　日本産業　東京電燈　鐘紡新　帝國人絹　日本毛織新　淺野セメント新　日魯漁業　王子製紙　日本麥酒新
久記証券部支店　新京老松町十二番　電話長二〇八五番

最後をかざる
優勝盃授與
輝く優勝盃の授與式と優勝した新聲チーム

息詰まる接戰の後 新聲軍遂に優勝
惜しや鐵路局の善戰及ばず
本社主催 滿洲國 排球選手權大會終る

碧空の下、感激と緊張渦巻くところ、出場選手の意氣更にあがる、本社主催、排球選手權大會は第一回戰より第二回戰更に第三回戰へとプログラムの進むにつれ一戰また一戰競技は一層白熱化され息詰まるやうな物凄い奮戰振りを演じたが、結局最後の優勝はいづれも新進の鐵路局對新聲會の兩雄によつて決せられることゝなり、觀衆をして手に汗を握らしむる大接戰を演じたるも惜しや鐵路軍遂に利あらず三對一のスコアーを以て新聲軍堂々と優勝、こゝに本年度の全新京排球界の覇權は新興滿洲國の精鋭新聲會によつて占められることになつた

妙技を盡して 各軍何れも猛奮戰

いづれ劣らぬ地方事務所B對新聲の對戰は午前中の白眉であつたが、そのあとを受けて新京鐵路局對國務院主計處の準優勝戰は午前に引續き午後一時から兩軍大緊張のうちに開始され鐵路軍悠々大勝主計軍涙を呑んで退く、つゞいて新聲對地方事務所Aのこれまた準優勝戰に入つたが、地事軍の奮鬪も効なく、遂に新聲軍に名をなさしめた、かくて最後の優勝戰はいづれも新進の鐵路對新聲によつて決せられることになつたが、流石に兩軍一進一退優勝戰にふさはしい妙技の限りを盡して觀衆をやんや熱狂せしめ、その間驟雨沛然として訪れ小時競技を中止するのほかなかつたが、それも暫らくにして止み、却つて清凉の氣更に漲る裡に兩軍鎬を削つて奮戰これ努め、新聲まづ一二回とも先取したに對し、三回に入つて鐵路これを取り返へしたるも後援つゞかず、遂に三對一を以て新聲軍優勝した、時に午後三時

準決勝戰

鐵路 2 21-17 21-10 0 主計
（審判正酒井副眞田）
鐵路　前 張辟寧　中 孫趙龍　後 李李蔭
計　前 木村對々　中 顯井賀納須　後 木田須
主　佐中日　須櫻橫　權上

新聲 2 21-14 21-8 0 地事A
（審判正橫濱副上田）
事地　島川本 辛岸山　村浦戸 吉三水　村玉口 椎兒樋
聲新　前 木山 抽眞白　中 井井 平酒祭　後 尾 猪成孫

優勝戰

鐵路局 1 17-21 21-10 18-21 18-21 3 新聲
（審判正入川副佐々木）
鐵路　張辟寧　前 孫韻趙　中 王李李　後
新　抽眞高　平酒桑　田成孫
聲　木出換　井井口

優勝盃 授與式擧行

かくて引續き優勝盃並に賞品の授與式を擧行、優勝新聲チームを右翼に準優勝鐵路局および地方事務所A國務院主計處各チームの順序で準一コートに整列、觀衆の拍手裡に本社細川取材部長から、まづ優勝新聲チームに特に優勝盃を授與、引續き副賞として本社寄贈特製銀メダル、三中井百貨店寄贈賞品、渡邊運動具店寄贈銀メダル、新京體育聯盟寄贈バレーボール一個をそれぞれ授與、準優勝鐵路局チームに對しては本社メタル、西山運動店寄贈賞品、新京體育聯盟寄贈バレーボール一個を、また、準決勝に出場した地方事務所A並に主計處兩チームに對しては金泰洋行寄贈賞品を、それぞれ授與し終つて細川部長より出場選手諸君奮戰の勞を多謝して今後一層御健鬪を祈る旨の挨拶があつて盛況裡に午後三時三十分閉會した

御來京を期し 全滿的暗殺計畫を策す
更に菱刈大使以下の暗殺も計畫 未然に發覺し城內憲兵隊で逮捕
元馬占山の部下一味

菱刈軍司令官を初め日滿要人の暗殺を企てた馬占山の部下陸軍大佐崔貴林（四四）の組織する暗殺團四名の內一名河北省生れ元少尉李老九（二七）が新京に派遣され城內に潜伏し畫策中を去月二十八日城內憲兵隊野原軍曹に檢擧され取調べの進行とゝもに一味の陰謀が白日下に暴露された

暗殺場所の檢分と 警戒檢分鉢合せ
計畫から逮捕に至るまで

滿洲國々賊馬占山は北京にあつて舊部下を糾合滿洲國の擾亂とゝもに日滿要人暗殺團を

==組織==し暗殺團員を滿洲國各地に派遣してゐたが一團の內團長元陸軍大佐崔貴林は部下四名を本年三月滿洲國內に派遣することゝし一味は指令を受け四月一日營口に上陸し、支那旅館に投宿實行計畫を協議し、四名は同地で情況を視察それぞれ指令地に潜入したが內李老九（二七）は暗殺に使用する兇器拳銃モーゼル、ブローニング各一挺、實彈十五發を支那枕に縫込み目的地である新京に巧みに潜入し城內小五馬路連昇旅舍に理髪職人として投宿、理髪職人を裝ふため居室に支那人獨特の理髪神棚を造り人目を晦し機を窺つてゐたところ警戒嚴重のため

==目的==を達することが出來ずあきらめてゐたが、その後鄭總理を初め各部大臣の官邸へ調査を初め本部に連絡をなし、更に七月二十九、三十兩日菱刈軍司令官が南嶺部隊を巡閲することを聞き込むや同僚一名を奉天から呼寄せ軍司令官暗殺を企て、二十八日二名は暗殺場所を定める目的で正午ごろ南嶺街の下檢分に出かけたが、その際城內憲兵分隊でも同樣事故防止のため分隊長以下隊員は下見分に出かけたところ野原軍曹の一隊が南關附近で李老九を發見逮捕し取調べたところ、腰におもちやの拳銃を所持してゐるので嚴重取調べると苦力で城內で强盜四件を荒した旨自白したので實地檢證を行ふと全然事情か合致しないので不審を抱き同分隊で犯人の足跡を調査すると共に連昇旅舍の家宅搜査を行つたところ居室溫突の焚口から北京暗殺團から來た指令を發見、更に溫突、天井に拳銃二挺を隱匿してゐるを發見押收し、證據品を突きつけると犯人はかくしきれず前記の如き恐るべき犯行計畫を自白した

==同隊==では全滿憲兵隊に共犯取押への手配をなした上犯人李は一件書類とゝもに身柄を二十七日檢察廳に送致した（寫眞は犯人李と兇器）

開魯街道で 匪賊と遭遇戰

高粱繁る蒙古の平野は匪賊の出沒盛んにして殊に開魯―通遼兩縣一八〇滿包の地域は東洋一流の合流匪百余騎が滿洲國警備隊數度の追擊をものともせず邦人一名を拉致しながら盛に橫行しつゝある情報に接した通遼警察隊は二十四日夜半行動を開始して前進中通遼を去る西方八十滿里王家店附近に於て廿五日朝五時遭遇戰を演じ滿洲國側警察隊三名戰死した警察隊はこれを撃退して開魯街道通遼營子南方に及び今尙ほ追擊中である之が爲め開魯通遼間交通はひやかされ殆んど遮斷され通遼に待機中の旅客多數に及んでゐる模樣である

福井組店員 拐帶逃走

八島通四十四番地福井組福井米太郎氏方大經路三十九號山島房太郎（五四）は福井組請負の□鎭を離れる西方五里黑林子、懷德間の國道工事監督に行くため一千圓を渡されたるを奇貨とし公主嶺に妻子を呼寄せ逃走した

店員拐帶逃走

崇智路胡同一〇九號深津玉一郎氏方西村光春（二六）は昨年十二月同家に雇はれ働いてゐるも二十六日午後一時ごろ突然行方不明となつたので家人が不審を抱き調査したところ借家賃九十圓その外六十圓の集金を拐帶逃走してゐることが判明したので新京署に届出た

農安地方のペスト 依然終熄せず
鐵道防疫班の報告

滿鐵農安鐵道防疫班からのペスト情報によれば扶余東南方二十五支里吉拉吐を調査した左記四名の死亡者及び患者を發見、臨床剖見鏡檢の結果いづれも眞症と決定した

△死亡者十八日六十九才男、十一日五十五才男、十一日五十九才女△現在患者十六日十三才女

▲二十一日の情報によれば二十一日扶余西〃方二十支里二莫に死者及び現在患者數名あるとの報に接した同班は二十二日調査のため現地に赴いた

▲扶余南方三十五支里七家子における調査によると扶余南方十五支里孫喜堡から七家子に來た廿九才の男は十七日發病十九日死亡、臨床剖見鏡檢の結果眞症ペストと決定扶余東南方十五支里狼□家子に來た四十二才男は十七日發病鏡檢の結果眞症と決定

新京對奉天對抗陸上競技 奉天勝つ

第二回全奉天對全新京對抗陸上競技會は廿六日午後二時より西公園競技場で開催されたが、十二種目の競技の結果六十七點三分の一對四十七點三分の二で奉天が勝を制した

仙人掌

曙の薔薇、あたしこのごろいたゞけませんのよ、といひながら、一盞二盞と重ねてゆく、さうすると彼女の瞳はうるほいを帶び何とも云へぬ艶色をたゞよはす、この瞳の色に悩殺されたものは果して何人か、これから先何人出かるか、思へば危險な瞳の色よだ▲こゝの菊丸、馴れないうちは捕へたばかりの小鳥のやうにありましたが、この頃はどうしてすつかり姐ちやんになりすましました、圓轉滑脫、なかなか隅に置けません、▲こゝの君勇、お客さんがおまへの顔は歌麿さんの繪のやうだとおつしやるのよと、そのロぶりが歌麿と知己のやうにかたづけてるからおもしろいまア細木原靑起ところだらうそだと思つたら靑起の繪を携へて行き比較研究してごらんなさい

滿露國境を探る（三）
女尊男卑の團山子
匪襲で落漠！
平年は三百萬圓の阿片を消費

東安鎭、饒河、虎林の町はウスリー江沿岸の主要な町であるから最近の實情を槪述してみる

東安鎭
東安鎭は地圖の上では饒河となつてゐるが、現在では團山子を饒河と稱すべきである、何となれば東安鎭に在つた饒河縣公署が團山子に移轉したからである、同地の人口は滿人六六二名、朝鮮人一七〇名で町の產業は阿片と米である町より數キロ南方に撓力河とウスリー江の合流點があり、撓力河の水運を利用して寶精縣方面の特產が東安鎭に出で又雜貨類が奧地に運ばれる、滿洲國江防艦隊は今夏初めて撓力河を上流まで遡つた

團山子
團山子は虎林と共に阿片の町として有名であり且ウ江沿岸切つての繁華な町である、地形は密山から勃利へ走る完達山脈の尖端が團山となり、その山麓が團山子の町で軍事的要衝の觀がある、港へ入つてすぐ眼についたのは本年二月三好匪がこの町を占領した時討伐軍迎撃の目的で造つた土壁の銃眼や鐵條網で今出支隊はこの自然の地形を利用した匪賊の抵抗に少なからず惱まされたと聞いた町內は匪賊跳梁後の經濟が未恢復のせいか何となく活氣なく嚀に聞いた饒河とは別ものの樣な感に打れた、縣公署を訪問し劉縣長、隈元警務指導官等と會見し種々地方事情を聞いたが、兩氏共僻遠の地にあつて縣政改善の爲め不眠不休の努力を續け疲弊せる民力が元の水準に達する迄お互に禁酒を誓つたと聞かされ、淚ぐましい思ひがした、縣全体の人口は滿人三萬七千、鮮人六千であるが、團山子の町は一萬人を占め、その男女の比率は男七に對し女三で、勢ひ女は貴いものにされてゐる、ロシア人も四十二名居るが全部女で主に滿人の妻君である町の文化は久しく滿洲中央と隔絕されてゐた關係上、ロシアの影響を受ける所多く、大きな建物は殆んどロシア式で商店の看板もロシア文字で書かれてあるのが眼についた、この町は平年ならば卅萬兩の阿片（價格に見積つて三百萬圓以上）と縣內で消費しても尙二、三萬石あまると言ふ米と五千本の木材が集散し殷賑を極めるのだそうであるが、今年は匪襲を受けた上に三好匪が四十萬元の私帖を發行、哈大洋と交換し日本軍攻擊の際町の美女十數名をかつさらつてソ聯に逼入した爲め、一時は火の消へたやうな落漠さであつた、其後中銀は右の不換紙幣を一圓につき一錢の割で國幣と交換したが町民の、痛手は大きかつた更に本年の「けし」栽培は政府の植付段別制禦の上春の降雹で大打擊を受け加へて採取期になつてから匪害の嚀が擴まり、毎年入込む採取勞働者が入込まぬため豫定が狂ひ、本年の收穫は例年の五割程度で、恐らく稅金の滯納が續出するであらうと憂慮されてゐる、然し米だけは天候に惠まれ豐作が豫想され、この所鮮農だけがうけの態であつた、對岸を少し奧に入つたウ鐵沿線のビキンの町は、イマンと併稱される要津で、ビキン區行政中心地であると共に、沿海州農業の中心地であるが鮮人土着者五千余名を算し水田經營をやつてゐるとの事であつた（海靑鎭に停泊中の滿洲國江防艦を監視するソ聯の監視艦）

新京日日新聞
朝刊
本紙夕刊共八頁
發行所 新京日日新聞社 新京永樂町四ノ一 電話三二五・三三〇〇
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

在滿機構改革

飽くまで三省の直接交渉で解決！

首相妥協案の指示を避く

全然無理のないものを希望

【東京國通】在滿機構改革問題は陸、外、拓務の三原案は河田翰長の許へ提出され目下主として陸軍、外務兩省事務當局間に直接折衝を進めて居るが陸、外兩案は全權大使の命令系統に＝異議＝あり、陸軍案は全權大使に特別の官制を設け總理の管轄下に置くと云ひ、外務案では獨立尊重の建前から全權大使は國際法上の慣行に從ひ外相の管轄下に置き、外交機關に特別官設置の反對を唱へて居り、根本の相違がある、拓務案では陸海兩案に對し從來の關東長官の權限歸屬に懸隔あるので陸、外、拓務が妥協する迄には相當の困難が豫想され一般からは過般の滿鐵組織案の樣に解消するかと憂慮されて居り、大連では關東廳と市民間に拓務案擁護の運動が起り時日遷延のため問題は一層困難となるので、岡田首相、河田翰長は各省の面目問題に發展せぬ內妥協點へ到達せんことを希望し、河田翰長は金森法政局長官と三省案を種々研究して居るが、建直して妥協案を作り指示の方針を避け飽く迄三省の直接交渉を斡旋し各省の互議を求める方針である、唯改革案は樞府の諮詢を仰ぐ要ある爲、其ために無理の無いことを希望し＝愼重＝に研究して居るが、關東廳の官制變更で特別會計變更も當然起るので既に主計局長にも各省案を說明し、豫算關係を研究せしめることとなつて居る

治法撤廢、行政移管

奉天も絕對反對

市民大會で宣言決議を爲す

【奉天國通】治外法權撤廢、附屬地行政權滿洲國移管、附屬地課稅の三重要問題に對する奉天市民大會は廿六日午後七時二十分より當地公會堂にて開催、各辯士何れも『治外法權撤廢は未だ治安確保されぬ現狀の滿洲國に於ては時期尙早である』と絕對反對の氣勢を揚げ、次の如き宣言決議を爲し盛會裡に午後十一時十五分散會した

宣言

滿洲國內に於て享有する帝國臣民の治外法權は滿洲國及び其國民の文化的向上發展を待つてこれを撤廢するの時あるべしと雖も現在の滿洲國情況は建國僅かに三年、治安未だ定まらず文化尙未だ洽ねからずこれを撤廢せんとするは時機尙過早なり、滿洲國は宜しく一意專心其の國政の整備に奮勵し其の國民の敎養に努力すべきものと認む、更に我鐵道附屬地の行政權を滿洲國に移管せんとするが如きは過去三十年來の犧牲的歷史を沒却し經濟的發展の基礎を覆沒する愚案にして吾人の絕對に承服し能はざる處なり、殊に最近唱へらる附屬地課稅の如きは其の稅率の高下徵收方法の如何に拘らず日本帝國の行政權を無視し附屬地居住者の生活を脅威する暴擧なりと云はざるべからず（中略）よつて吾人は左の決議を爲し共の實行に邁進せん事を期す
右宣言す

決議

一、治外法權撤廢は時機尙早なりと認む
二、鐵道附屬地行政權の滿洲國移管に反對す
三、日本行政權の行はるゝ鐵道附屬地に滿洲國が課稅せんとするに絕對反對す

新京の財界に輝く人々（十）

暇さへあれば讀書

押も相當强い

國際運輸支店長 宮原芳茂氏

國際運輸新京支店長宮原芳茂氏は山口縣の人、大正六年東京の帝大法科を出ると直ちに運送業界に身を投じた運送業生へぬきの人である、最初日本運送に入り、その後國際運輸會社が生れるや大正十二年同社に轉じて朝鮮各地の支店長を勤めてゐたところ昭和五年朝鮮の國際運輸が分離して朝鮮運送會社となるにおよび一時國際運輸から籍をぬいたか、本年の三月朝鮮運送淸津支店長から再び國際運輸にかへり直ちに新京支店長になつた人である

運送業くらゐ形のきまらないそして接觸方面の廣い商賣はあまりなく、その仕事が地味で人一倍に骨を折らねばならないときてゐるのであるからこのくらゐ又割に合はない仕事はないやうである、然しこれが自分に與へられた仕事であると思へば別に不平もなければ他の職業を羨しいとも思はない、と氏は過去十七年間を橫目も振らず仕事大事と熱心に活動してきた稀にみる眞面目な人である、從つて國際運輸の創業時代而もはじめての朝鮮で新しく支店を各地に設置しては氏自らがこれを開拓しかつて一度の失敗をもしてゐない、これは氏の熱心と努力によるものである

由來山口縣は有名な政治家の出身地で氏も大學を出る直前までは政治家を志してゐたが當時歐洲大戰の影響で實業界が漸く好轉の徵にあつたときであり、氏も時の流に應じて實業界に入つたものである、氏はまことに悠長な性格で小事には少しも氣をかたむけないかの如くみへ自分でもぼんやり屋だからといつてゐるがあれで決してぼんやり屋でなく一般財界の推移には勿論社會の狀勢にも人一倍の氣を配つて絕へず銳敏な頭を働かせてゐる、氏は別に趣味といつてはなく暇さへあれば讀書し酒も病氣して以來はつゝしんでゐるので酒豪でならした昔の面影は今さらに伺はれない一見柔弱にみえて決して柔弱でなく平凡にみへて又決して平凡でなく、意氣もあれば押も相當强い人である

虛心坦懷―

意氣と熱に生る人

朝鮮貿易協會理事 太田善之助氏

社團法人朝鮮貿易協會は昨年の二月鮮內の有力な商工業者が總督府、各道廳および全鮮各商工會議所後援のもとに創設したもので會長は朝鮮銀行總裁加藤敬三郎氏である、新京出張所長で同協會の常務理事である太田善之助氏は朝鮮物產の販路を先づ近きより開拓すべきであると創立間もない昨年の八月奉天に支部を設け、更に同年の九月上旬新京に出張所を設けて氏自らが乘出してきたのであるが同協會が非營利的な機關であるのと氏の努力によつて僅か一ケ年をいでざるに協會の趣旨も漸く新京一般の商工業者に知られ之を利用するものも漸次增加の模樣である

氏は大學を出ると直ちに朝鮮銀行に入り、同行淸津の支店長を最後として大正十二年に二十年間の行員生活から足を拔き、大阪の證券會社に專務取締役として入社したが社長自らが株に手を出したため氏の折角の奮鬪と希望も遂ひに水泡にきして破產の憂目にあひ、氏は重役としての責任上私財を全部これが整理に投げ出し昭和二年の末丸裸となつて再び朝鮮に渡つた、一先づ大邱に身をおちつけて同地商工會議所の理事に就任したが、貿易協會が創立されるや同時に常務理事として協會に入つたものである大阪時代が一生を通じての全盛時代であつたらう……怖ろしくもあつたが又華かな時代であつたと感慨深く今でも語つてゐる

過去の半生以上を經濟關係に身をおいてゐるだけに、同方面の見透しについては實に銳い頭腦をもち今日完成をみてゐる京圖線も既に氏が淸津在住當時氏から盛んにこれが敷設を叫んだものである、氏は一見してもわかる如く非常に頑固な性格で惡いと知ればどこまでもこれに反對し決して人にへつらひ讓るやうなことをしないが、その反面におひて又親分肌なところが多分にあり、世の中をよく知りつくしてゐるだけに一旦こうと意氣投合すれば虛心坦懷、どこまでも人間的に行をともにする人で殊に家庭においては別人のやうな和かな氣質をもち和氣靄々たるものがある

滿洲國辭令

檢察官 丸才司
同 川又甚一郎
推事 筒井雪郎
同 西村義太郎
給三級俸（各通）
推事 吉野淑計
給一級俸
檢察官 野田納雄

給三級俸
吉林省公署敎育廳長 張書翰
給四級俸（各通）
專賣公署長 姜恩之
立法院秘書廳秘書長 劉恩格
國務總理大臣秘書官 鄭禹
給四級俸（各通）
民政部衞生司長 張明
外交部宣化司長 川崎寅雄
實業部鑛務司長 陳悟
新京特別市公署總務處長 橋口勇九郎
國道局奉天國道建設處長 中村貞輔
齊齊哈爾國道建設處長 鈴木兵一郎
郵政管理局長 趙震
權度局長 岐部與平
給五級俸（各通）
奉天省公署參事官 金綾
黑龍江省公署秘書長 路之
奉天省公署秘書長 齊恩銘
警察廳長 曹承宗
航政局長 嚴東寒
給二級俸（各通）
推事 行山義光
監察院監察官 憲眞
給四級俸（各通）
奉天省公署參事官 王玆棟
黑龍江省公署參事官 陳紫瀾
熱河省公署秘書長 曾格
新京特別市公署行政處長 董暘
給三級俸（各通）
北滿特別區公署敎育處長 梁禹襄
給五級俸
推事 栗山茂二
給三級俸
黑龍江省公署實業廳長
給月俸六百圓 盧元善
熱河省公署參事官 廣輪
給四級俸
國道局副局長
外交部通商司長 孔世培
給月俸六百圓（各通） 呂宜文

讀者の聲

▶中傷はとらず◀ 氏名住所明記の事

新京名物ホコリ

彬生

近代的都市！！新京！こゝの名物は只一ツ！ホコリあるのみだ、否滿洲名物とも云へる……數丈のホコリが一寸先も見えぬ樣に吹きつけてくる時は實に愉快だ、この中に新京はだんだん大きくなつてゆく！……滿洲人はホコリには何のツウヨウも感じないらしい赤ちやんの時代からナレてゐるらしい、そのホコリの中で大きな茶碗で熱い茶をフウフウといきをして飮んでゐる實に落ついたキモのすわつた民族とも思へる……我々日本人にはどうしても此のホコリはニガテだ、新京はまだやさしいらしい、話に聞けば四方八方此のホコリに見舞はれてゐるとの事だ！御蔭で滿洲へ來てから顏の色が黑くなつたと云はれる、誰しもが感じる事だらう！時に目立つて黑いのは軍人だ何時も外へ出てゐる故もあるだらう！そこに又頼もしいトコロがある……早く此のホコリが靜まればいゝと思ふ時には寒くなつて來る、急に寒くなる！大陸滿洲だと感じる、雨がザーと降る十分間位ドシャ降りに降つてカラッと晴れる、又パクパクとホコリがうづまく實に驚かざるを得ない、內地から初めて來た人はとても永く住む氣持はしないだらう、體の弱い人達はせつせと退却すべきだ！健全なる身心になりて再び來る事だと思ふ、唯ポカンとして「現代語で言へば認識不足」來滿する人々よ！心せよ！此のホコリに……此の黃塵萬丈の中に躍動する日本人！皆ヒトクセ持つてゐる！そのヒトクセでホコリの中に血眼になつて〇〇を探してゐる、うそ〇〇もたやすく探せないだらう、あるものは只ホコリだ……新京にも內地から色トリドリの人々がやつて來た！何でもいゝ新京へ行けば……と言ふやうな氣持でくるらしい、それも友人親戚がある人々はユウユウとして居候にやつてくる、その進取の氣象は愛すべきだ、がそれから先の氣象がよくない……新京には△△であれ、官吏であれ、商人であれ、何であれ「不平不滿」のルッポらしい會ふ人々は皆不平不滿をこぼしてゐる、實にナゲカハシイ事だ！建國中期の今日、未だ人心不安定なる今日、不平不滿は誰しもが持つてゐる！その不滿を消して了はなければならない何時如何なる突發事件起るやも知れない時ではないか！御互に日人であれ滿人であれ大事な時節だ、御互にしつかりと握手してやつてゆく事だ！……此の滿洲名物「ホコリ」の中に住む我等!!ホコリ故に朗らかになり愉快に各自の仕事に邁進すべきだ！日本人、滿洲人一心一體となりて進むべきだ！

ソ聯側の不誠意で

會議一時停頓狀態に陷る

昨日正式會議續開

滿ソ水路會議は二十五日正式會議を開催議事は順調に進んで居たが前回の協定文以外に採決濟の事項をソ聯側で不承認の態度に出でたゝめ滿洲國側は續行も無意義なりとしてソ聯側の反省を求むべく一時休會を宣して會議は一時停頓狀態となつたが、二十六日ソ聯側より非公式に連絡し來り誠意を示すに至つたので、二十七日午前正式會議を再開討議を續行する事となつた

會計檢查院から

國庫財產檢查

井上部長一行來京

會計檢查院部長井上德太郎氏を始め、同副檢查官國島員一同書記馬渡聽兩氏の一行は滿鐵會社から廣崎審查役、藤田經理部主計課長ら隨伴來る四日安東發、五日新京着、六、七兩日間滯在のうへ大使館、朝鮮總督府出張所、滿鐵各事務所につき國庫財產の檢查をなし、八日新京發ハルビンに向ふ豫定である

血盟團事件の公判

愈よけふ開廷

注目される木內檢事の論告 世の視聽茲に集る

【東京國通】社會機構の變革新政權の招來を目標に、特權階級と財閥の打倒を企て、一人一殺主義を＝目標＝に、一昨年二月には藏相井上準之助氏、三月には三井財閥の團琢磨男を夫々暗殺して五、一五事件の先驅をなし、全日本を震駭させた所謂血盟團の盟主日召事井上昭外十三名に係る殺人並に殺人幇助事件公判は、去る廿三日第六十二回を以て漸く事實審理並に證人調べを終了し、廿八日午前九時から愈々木內檢事の論告求刑に入る事となつた何しろ同事件は昨年酒卷裁判長忌避問題から同裁判長の辭職の波紋まで捲起すに至つた曰くつきのものである、各被告は二年有半の長き拘禁生活に拘らず小沼が胸を患つてゐる外は日召始め十二名共頗る元氣で火木、土に出廷する外は坐禪、讀書の靜かな起居の裡に求刑の日を待つてゐる、廿八日の＝論告＝は曩に五、一五事件で名論告を爲した木內主任檢事が之に當るがその要旨は

一、總論（槪論）
二、各論（具体事實）
三、法の適用
四、情狀論
五、刑の量定

の五つに分ち護法の精神と社會風潮の匡正とを强調する筈であるが、特に情狀の點が注目され刑の量定に曩に五、一五關係者の判決斷罪もあつた事とて注目の＝焦點＝であるが、殺人罪の極刑を以て斷ぜられるものゝあるを免れぬとみらる、論告は午前九時から二時間乃至二時間半に亘る豫定である

對軍縮會議措置の

廟議の決定を要求

＝廣田、大角兩相から＝

【東京國通】廣田外相、大角海相は九月上旬の閣議に、軍縮豫備會談と本會議に對する根本對策の廟議決定を求むる事となつたが、閣議提出の軍縮對策は左の通りである

一、明年の海軍會議へ提出する根本原則と要求事項
一、豫備會談に之等原則を承認さすべき外交措置
一、豫備會議が不結果の際本會議の開催其他に帝國政府の執るべき措置
一、ワシントン條約の廢棄通告の時機選擇の根本方針
一、ワシントン條約の廢棄通告で生ずる事あるべき國際關係に對する措置
一、日本の提案を英米が拒絕せる爲め本會議決裂の場合執るべき措置

ホ伯皇帝陛下に拜謁仰付けらる

去る二十五日來京以來政府各方面を歷訪視察を了へた元印度立法院議長フレデリックホワイト伯は、二十七日午前十時半宮內府に參內、皇帝陛下に拜謁を賜り同十一時七分退下、午後四時半發列車で離京した

北鮮九德鐵橋上で

混合列車顚覆

卽死三名、重輕傷者四十二名

【京城國通】二十七日午前七時五十分羅南驛發新北靑行混合列車が、八時頃鏡城の手前九德鐵橋上で機關車を殘し全部脫線顚覆、六十名の乘客中卽死三名、重傷三十二名、輕傷十名を出した、原因は取調べ中であるが或は〇〇鮮人の策動に依るのではないかとも觀られてゐる

淸原縣に紅軍襲來

【奉天國通】二十六日午後十一時頃淸原縣草市に紅軍百數十名襲擊自衞團、警察隊は之と交戰一時間半にして敵を擊退したが、紅軍は退却に際し人質十五名を拉致市內數個所に放火逃走した、本戰鬪に於て滿人三名軍傷を負ひ日本人家屋一戶を燒失した

奉吉線に匪賊 橋梁を燒却

【奉天國通】總局入電に依れば廿六日午後二時頃奉吉線萬山屯驛北方二キロの地點に十數名の匪賊襲來、附近の橋梁及び枕木四本を燒却逃走したが、右被害個所は廿七日午前四時復舊した

郡山新滿鐵理事 地方行政初視察

滿鐵地方部擔當理事に決定した郡山新滿鐵理事は日滿各機關への挨拶を兼ね、地方行政狀況視察のため、兩三日中に來京するはずである

隅語

今年は宮殿下の御來京について、お天氣が降りつゞきであつたため、どの工事もおくれおくれて、少くて一ケ月、長きは二三ケ月にも延ひてゐる、殊に出水から煉瓦その他の材料拂底し、この頃のやうに折角のお天氣がつゞいても手出しもならぬ破目に陷つてゐる▼國都建設局關係を除いては何といつても大きいところでは、滿鐵關係の工事だが、新設中學校を始め第三、第四兩小學校もお多聞に洩れず同樣の悲運にあつてどうも捗らない、一方生徒兒童は日一日と容赦なく、どんどん殖えてゆく、當局者はたゞ氣ばかり焦つてゐるのが昨今の現狀である▼地方事務所では現狀のまゝすておく時にはいつまで遲れるか圖り知れないので、今後は主力を專ら學校方面にそゝぎ、それも差當り生徒を收容出來る程度にして、まづ緊急必要なものから片付け、殘るところは其後に讓らうといふことになつた▼從つてこれがために學校以外の工事はより遲れることになるわけだがこれも現狀からいつてまた止むを得まい▼例の學校騷動が原因して東商業學校長が近く正式に敎育界から勇退する、校內に留任運動もあつたやうだが、同氏のことだから未練を殘さず潔く辭任するであらう、誠にお氣の毒ではあるが、事こゝに至つてはその責任を感じ取るべき手段を取るのが最も賢明で、なほ春秋に富む氏の將來を生かす所以でもあり、元來實業畑に育つた氏としては、傳へられる實業界入りは寧ろ本筋であるわけだ▼折角の御自愛を祈る

天氣 南西の風晴一時曇
氣溫 最高二十五度八 最低十一度九
日出 前四時五十七分
日入 後六時二十三分
月出 後七時四十三分
月入 前八時五十九分

本格的暑さも來ず 早、滿洲に秋の訪れ

雨は平年よりづつと多かつた 二百十日も平穩か

清澄な空に吹き出た高粱の穗にしみじみと秋を感じるきのふけふ、浴衣がけの素肌にしみる秋冷がめつきりと味はれる頃になつた、滿洲にもう秋が來た、朝晩は內地の十月頃の陽氣で二十七日朝午前十一時の寒暖計は二十三度を指してゐる、この月も下旬には蒙古方面に高氣壓が出て來て秋もいよいよ本格的となる夏にお別するに當つて、觀測所で今夏の全貌をきく

今年昨日までの六、七、八三ケ月の雨量は四百八十八ミリで平年と較べて六十六ミリ多く、六月下旬から七月上旬にかけて降雨が集中したので洪水が起つたのです、內地でも大降雨で困つてゐる地方と旱魃に泣かされた地方があつて不順でした、溫度は八月七日の三十二度一が最高で昨年七月の三十七度一に較べると五度も低く、七月中の平均溫度も二十二度五で昨年の二十五度よりは二度五、平年の廿三度一よりは〇、六度低かつた譯です、近頃では夜明けには十度位に降ります九月末には新京にも霜を見るやうになりますが早い地方マンチユリーなどでは九月の初めにはもう降霜があります

と、秋の訪れを語つてゐる內地の二百十日は今年は九月一日で例年二百十日前後に南洋方面に颱風が襲來するので天候が暴れるのだが、未だにその徵もなく二十七日は內地方面も天氣が安定してゐるので、今のところ案外穩やかではないかと豫想されてゐる

作柄豫想は樂觀を許さぬ 結局二三割減收か

秋の收穫が近づいて今年度作柄が方々で話題に上つてゐる悲觀論と樂觀論まちまちでまだ定說がない一昨年に較べると本年の水害は甚大でなかつたとはいへ北滿地方の被害は樂觀を許さぬものがある

各方面の意見を綜合すると本年の收穫は二、三割の減收が豫想されてゐる、河川沿岸は何といつても大豆の被害が筆頭で全滅的な地方もあるが地方地方で一定してないといはれてゐる

各學校とも運動會の準備

トップは商業學校

讀書に、スポーツに學童は秋風とゝもに淸空に親しんで來た、各中、小學校では九月のスポーツ期に一齊に秋期大運動會が行はれるが學生、兒童たちは早くも運動會の準備にとりかゝつてゐる、各學校の運動會期日は左の通りである

商業學校九月七日、中學校九月二十九日、女學校九月二十三日、室町小學校(秋季体育會)九月十三日、西廣場小學校九月十三日、普通學校九月十六日

高女で 夏季課題展覽

新京高等女學校では四十日の夏休み中、學生がそれぞれ地歷の研究資料、文藝の創作、裁縫、手藝の製作品等の優秀なものが澤山出來たので來る三十日、三十一日の兩日午前八時から午後三時ごろまで夏季課題の展覽會を講堂で開催する、一般には公開せざるも保護者その他特種關係者には會場に案內すると

婦人團体聯盟 委員長に 吉澤夫人

新京婦人團体聯盟第一回委員會は二十七日午後二時三十分から益濟寮大食堂において開かれた、出席者は吉澤委員以下十七名で、まづ同聯盟事務所が社會係に置いてある關係で野村社會主事が世話役となつて開會の辭を述べ、聯盟委員長決定方法として無記名投票を行つた結果大多數をもつて吉澤夫人が當選、吉澤初代委員長から就任の挨拶あり、綴つて同聯盟の相談役として左記十八名が決定された(順序不同)

高山署長、吉澤總領事、荒木地方事務所長、芳賀鐵道事務所長、蓮沼門三、上村學務司長、上原校長、野村社會主事、江部校長、宮崎壽三郎、三宅精一、品川居留民會長、小林大佐、大原地方委員議長、四戸在鄉軍人聯合分會長、石崎商工會議所會頭、瀨川校長、區長代表、

なほ常任委員三名、幹事若干名は委員長から後日指名で決定することになり午後三時四十分散會した

拉賓線新職員 配屬さる

九月一日から本營業を開始する拉賓線へ轉屬する兆南鐵路局員約二百十名が二十七日兆南出發二十八日午前九時十五分新京着同日午後零時半發列車で吉林に向ひそれぞれ配屬される

全市にかけ 不良狩り

最近新京近郊に頻々として小匪賊團が出沒し良民を襲ひ金品を掠奪し、他市內に潛入してゐるのでこれ等不良分子の潛入を防ぐため新京署では二十七日午後六時から全署員を召集し高山署長指揮の下に全市に亙つて不良者の一齊檢束を行ふことになつた

廿五名の採用に 四百五十名押掛く

昨日の滿鐵臨時傭員採用試驗

新京驛では二十七日午前七時から臨時傭員二十五名の採用試驗(午前中口頭午後筆記)を行つたが二十五名の採用人員に驚くなかれ四百五十名の受驗者とは、今度の受驗者は一般に募集するでなく、かねて入社希望で履歷書を提出してゐたものゝ中から銓衡したものである、四百五十名のうち大多數は中等學校卒業生で補導部から來た在鄉軍人が十名後は小學校卒業生で外國語學校出身が二名、なほ採用者二十五名は大体二十八日中には決定の豫定である

ペスト防疫の 從業員數

二十二日現在におけるペスト防疫從事員は滿鐵、鐵路總局の醫師、助手合せて六十五名その內譯は次の通り

大連滿鐵助手一名、四平街滿鐵醫師二名、滿鐵助手六名、總局助手二名、新京滿鐵醫師一名、滿鐵助手八名農安滿鐵醫師一名、滿鐵助手六名、兆南總局醫師一名總局助手五名、太平川總局醫師一名、總局助手二名、鄭家屯總局醫師三名、總局助手六名、錢家店總局醫師一名、總局助手二名、通遼總局醫師三名、總局助手八名、彰武總局醫師一名、總局助手二名、大虎山總局醫師一名、總局助手二名、合計滿鐵醫師四名、總局醫師十一名、滿鐵助手二十一名總局助手二十九名

滿洲國郵局 一日から取扱 時間變更

滿洲國郵便局の窓口事務取扱時間を康德元年九月一日より左の通り改正した

一、郵便の取扱は節日及日曜日は午後三時迄とす

二、代金引換郵便の交付同取立金の拂渡並稅付郵便の交付及同稅金の收納は爲替貯金の取扱時間に同じ

三、爲替貯金の取扱は土曜日は午後三時迄とし節日及日曜日は取扱をなさず

期待せられる 旅客事務打合せ會

新京からは三等旅客優遇案

既報、滿鐵々道部主催昭和九年度第二回旅客事務打合會は三十、三十一兩日大連社員俱樂部第四集會室で午前九時から開催されるが同會に提出される協議事項中新京側からの議案は既報の通り三等旅客に對するサービスを主とし例へば三等寢台料金の合理化、三等旅客車の車內裝飾その他改善の件、三等寢台使用者にも毛布一枚を貸與の件(以上新京列車區提案)等である、なほ大連、奉天からの提案で面白いものとしては大連驛案

…食堂車の鑑を完全燃燒裝置にすること

奉天列車區案の最近待遇乘車證(パス)の不正乘車多いためこれが防止策として乘車券と同時に本人の寫眞付身分證明書の提示を要求することにしたい

などである

京圖線 慰問列車 九月五日新京出發

京圖線沿線の鐵路從業員並に軍隊慰問の鐵路總局慰安列車は、來る九月一日奉天出發、新京、吉林方面に於て商品を滿載し、醫療設備等も整へ、同五日新京出發、約一ケ月に亙つて新京圖們間の慰安を行ふ事となつた

滿鐵の 能率增進講習

今回滿鐵に於ては業務合理化能率增進に對する概念を廣く普及するため、左の日程により業務能率增進講習會を開催する

大連 九月 三日、四日
新京 八月廿九日、卅日

尚同講習は一般の聽講を希望してゐる

京都教育會 滿洲視察團來京

京都府教育會滿洲視察並に駐屯部隊慰問團一行六名は廿六日午前九時吉林方面の慰問、視察を了へて來京廿七日夜ハルビンに向ふ豫定

…意見の交換を行ふ譯であるがタン紙東京駐在員シュヴァリエ氏も同行してゐる

苦力の縊死 大同組無關係

去る二十四日市內和泉町の滿鐵獨身社宅建築工事場で苦力が縊死を企て未遂に終つたこと、その以前二十一日にも同樣苦力態の滿人が縊死したことがあり死靈の祟りだらうとの怪奇な噂を生み右工事請負者は大同組なので何れも同組雇傭の苦力の如く傳へられたが前の縊死者は身許不明次の縊死未遂は隣の錢高組の苦力であるからと大同組から申出があつた

日活の罷業 形勢惡化

【東京國通】日活の紛爭に端を發した日活經營廿一館從業員ストライキは形勢惡化し、會社側の强硬態度にストライキ團も結束申合せ愈々持久戰に至らんとしてゐる

日米陸上選手 來滿確定

【大連國通】アメリカ陸上競技選手監督以下十五名は九月二十日編路來連廿三、廿四日の兩日大連運動場に於て全滿洲軍と對戰するに決定した、尚日本側選手はインターカレッジの開催があるので西田以下の大學選手は來連せず、その他の一流選手が同船して來る筈であるが、本大會は事實上日滿米三國競技會となるものである

滿鐵語學試驗 新京試驗場

既報、昭和九年度滿鐵語學檢定豫備試驗は來月二日から各所で施行されるが新京の試驗場は支那語、露西亞語は新京實業補習學校、日本語は室町小學校に變更された

大陸科學研究院 近く誕生

過般滿鐵沿線視察旅行より歸京した大河內正敏子は來京後旬餘に亙る各方面視察調査の結果を基礎として愈々大陸科學研究院の機構に關する私案を作成し、二十八日國務院に於て臨時委員會を開き、右私案を滿洲國各關係者に報告する事となつたが、待望久しき大陸科學研究院も大体右案を基礎として近く誕生の運ひとなるものと見られる

佛海外發展 協會員來京

佛國海外發展協會員ヴァニュー氏夫妻は廿六日夜來京した、同氏は新京に三日間滯在滿洲國各要人と會見滿佛の經濟的提携につき隔意なき

居住消息

▲秋山雅一氏(兵庫縣)四平街から入船町三丁目一番地へ
▲荒川榮三郎氏(大阪府)入船町二丁目九番地ノ四竹本方へ
▲高橋傳之助氏(愛媛縣)奉天から富士町七丁目二番地富士寮い號へ
▲角田三好氏(山口縣)日本橋通り八十番地ノ三平野方へ
▲谷本留吉氏(東京府)錦町二丁目十一番地憲兵司令官々邸へ

轉居

▲坂田耕作氏三笠町から富士町三丁目七番地滿洲醬油會社へ
▲石渡愼五郎氏崇智路から錦町一丁目錦ビル六十九號へ
▲篠田義幸氏千島町から平安町一丁目三番地弓削方へ
▲濱浦小太郎氏曙町から興安省索倫へ
▲山室良勝氏吉野町から大和町六十一番地ノ三へ
▲坂本柳一氏富士町から入船町二丁目二十九番地へ
▲加島安太郎氏吉野町から祝町二丁目十九番地ノ二加地方へ
▲石龜孝氏露月町から日出町二丁目二番地日出館へ
▲森田銀作氏中央通りから平壤へ
▲前澤一義氏日本橋通りから入船町二丁目二十五番地金子方へ
▲奧村濱太郎氏富士町から室町二丁目五番地へ
▲原田辰馬氏千島町から東三條通り五十一番地久留島方へ
▲櫛田文男氏室町から中央通り三十六番地へ
▲杉山榮太郎氏(大和通り三十三番地)四女令子さん二十九日出生

運動

全滿水上競技選手權大會 三つの新記錄

【大連國通】全滿水上競技選手權大會は廿六日午後一時より大連運動場プールに開かれ三つの滿洲新記錄を作り午後六時終つた、成績左の如し

△百米リレー 一着奉天チーム(一二分七秒三滿洲新記錄) 二着BSクラブ(大連)
△三百米リレー 一着スタークラブ(大連、三分五三秒七)
△女子五十米背泳 一着入本(大連、一分七秒九)
△女子二百米平泳 一着荒尾(奉天、三分四三秒五) 二着石井(旅順)
△百米平泳 一着穗口(大連、一分二二秒) 二着史(大連)三着田中、(奉天)
△五十米自由形 一着永山(大連、二八秒六) 二着柳木(旅順)、三着關(大連)
△女子百米自由形 一着土屋(旅順、一分二六秒) 二着安部(奉天)、三着高塚(旅順)
△四百米自由形 一着史(大連、五分三一秒滿洲新記錄) 二着小川(奉天)、三着增尾(旅順)
△五十米背泳 一着細川(大連三六秒、八滿洲新記錄) 二着樺山(奉天)、三着牧野(大連)
△百米自由形決勝 1永山(大連、一分五秒四滿洲新記錄)
2山本(奉天)、3水田、(奉天)
△女子百米平泳 1石井(旅順、一分四七秒八)、2渡邊(奉天)
△二百米平泳 1穗口(大連、三分四〇秒二滿洲新記錄) 2史(大連)3山中(奉天)
△女子五十米自由型決勝 1土屋(旅順)三六秒八、2倉賀野(旅順)3平野、(奉天)
△男子百米背泳決勝 1細川(大連)一分二〇秒五(滿洲新記錄) 2北瀨、(奉天)、3皆畑(旅順)
△女子百米自由型決勝 1倉賀野(旅順)三分二七秒二
△男子二百米自由型決勝 1水田(奉天)、二分三三秒九(滿洲新記錄) 2小平(大連)、3增尾(旅順)
△男子一千五百米自由型決勝 1史(大連)二一分五五秒一(滿洲新記錄) 2小川(奉天)、3池田、(旅順)
△女子二百米リレー決勝 ヤマトチーム(大連)二分三四秒2奉天チーム
△男子二百米リレー決勝 1奉天チーム(一分五八秒) 2旅順中學チーム

奉天對新京 陸上競技 戰績

夕刊既報、新京体育聯盟主催二十六日西公園トラックで擧行された、全奉天對全新京第二回陸上競技の戰績は左の通り

一、百米1、中村秀(新)一一秒六2、末永(新)3、岸(奉)4、小宮(奉)
二、砲丸投1、郭(奉)一一米一一2、劉(新)3、大越(奉)4、中村秀(新)
三、千五百米1、干(新)四分一六秒三2、唐(奉)金(奉)4、黃(新)
四、走高跳1、岡田(奉)一米七二、2、小宮(奉)3中村(新)4、伊藤(新)篠田(新)石橋(奉)
五、高障碍1、中村秀(新)一六秒、2、山田俊(奉)3、河村(奉)、西村(新)
六、圓板投1、郭(奉)三三米六六2、越(奉)岡田、(奉)劉(新)
七、走巾跳、1、岡田(奉)六米七五、2、中村秀(新)3、篠田(新)4、小宮、(奉)
八、四百米1、干(新)五四秒2、岸(奉)3、山田、(奉)4、安久(新)
九、槍投1、岡田(新)六〇米二三、2、岡田(奉)篠田(新)4、矢野(奉)
十、五千米1、唐(奉)一〇分四一秒二2、金(奉)3本野(新)4、濱中(奉)
十一、棒高跳1、伊藤(奉)三米二〇2、日根野(奉)3、伊藤(奉)4、伊藤、(新)
十二、千米繼走1、新京チームニ分八秒五(平川、中村越井、干)2、奉天チーム

滿鮮中等野球 新義州勝つ 對龍中戰

7A—5

【奉天國通】當地國際グラウンドにおける鮮滿中等學校野球試合第一日龍山中學對新義州商業戰は廿六日午前十時五十五分蜂谷總領事の始球式の後小島(球)村上、針原三氏審判の下に龍山中先攻にて開始七A對五で新義州商勝つ、閉戰午後一時五分

△バッテリー 龍山 柳澤—金野 新義州 太田—橫本

△スコアー

龍	1	0	1	1	0	2	0	0	0	1	5
新	0	0	0	3	0	0	1	3	A		7

仁川勝つ 對新義州戰

4A—0

【奉天國通】新義州商業對仁川商業野球戰は引續き二十七日午後零時卅五分村山(球)香川、針原、平野(壘)四氏審判對〇で仁川勝つ

新義州 太田—橫本 仁川 山口—曾田

新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仁	0	1	2	1	0	0	0	0	A	4

奉中慘敗 對京中戰

21—0

【奉天國通】鮮滿中等學校野球第二日京城中學對奉天中學校は、廿七日午前十時より平野(球)針原、吉野、村上(壘)四氏審判の下に京中先攻で開始され、京中軍の猛擊に奉中軍は手も足も出ず、五回を以てコールドゲームとなり廿一對〇の大スコアで京中軍大勝した、閉戰十一時卅分

京中 黑崎—朴 奉天 木下—上西

京中	2	11	0	5	3	21
奉中	0	0	0	0	0	0

關東中等野球 桐生再勝

【東京國通】五日間に亙つて擧行された關東中等學校野球大會決勝戰は廿六日桐生中學對日大三中で擧行、一對零で桐生中學再度優勝、名譽ある硏政杯を獲得した

法政大勝 對ハーバード

12—3

【東京國通】ハーバード大學對法政大學野球試合は廿六日午後三時卅五分法政先攻で開始、結局十二對三で法政勝つ

法政	1	0	0	3	0	0	2	1	5	12
ハ大	2	0	0	0	0	0	1	0	0	3

警察勝つ 對郵便局軟式

5—4

新京署チームは過般軟式大會に準優勝まで進んだ郵便局チームと二十六日室町小學校々庭に戰ふ、警軍は勤務甚だしの爲め練習不足とはいへチームワークのとれてゐる點と燃ゆる鬪志に一擧敵陣を粉碎せんとするも片や郵軍は熾烈な練習と魔球投手の存在に此の試合は風をはらみ雲を呼ぶのではないかと豫想された、果してシーソーゲームにファンをうならしたが强豪警軍チームの上に榮光は輝く、試合開始午前十時四十五分、零時二十分終了

メンバー
警 部馬岡木手谷藤谷 4 6 5 3 2 1 7 8 9
郵 川有柚岡井角近佐渡 一二三四五六七八九
警 山富田川達澤井邊藤 5 4 1 7 3 2 6 9 8
郵 富谷溝小安小松霞後

兩軍得點表

警	1	0	0	0	0	2	2	0	5
郵	0	0	3	0	0	1	0	0	4

産業の振興を期し　滿洲發明協會設立
發明考案の業務一切を取扱ふ　(上)

日滿産業の緊密化及び振興を期し今回社團法人滿洲發明協會が設立された、同協會は大連に事務所を置き、各地に支部を設け、會長には日下辰太氏が就任滿洲に於ける發明考案並に工業所有權の保護獎勵發達を圖るを使命とし其他廣くこれ等の調査、研究、相談出願その他の手續の補助、紛議の調停、仲裁等一切の業務を行ふことゝなつて居り、同協會の出現は滿洲に於ける發明考案促進に多大の貢獻あるものと各方面から期待されてゐる

滿洲發明協會定款

第一章　總則

第一條　本會は發明考案並工業所有權の保護、獎勵及發達を圖るを以て目的とす

第二條　本會は社團法人とし滿洲發明協會と稱す

第三條　本會は事務所を大連市に置く

第四條　本會は必要と認むる地に支部又は出張所を設くることあるべし

支部又は出張所に關する規定は別に之を定む

第五條　本會は第一條の目的を達する爲左の事業を行ふ

一、發明、考案及工業所有權に關する調査研究及相談

二、工業所有權に關する出願其の他の手續の補助

三、發明、考案、意匠の案出及工業所有權の實施に關する補助

四、工業所有權に關する紛議の調停又は仲裁

五、發明、考案及工業所有權に關し功績ありたる者の表彰

六、發明、考案、工業所有權に關する講演會談話會等の開催

七、發明、考案及工業所有權に關する懸賞募集又は他の依頼に應じ其の事務の處理

八、發明、考案及工業所有權に關する博覽會、展覽會等の開催又は他の主催に係る博覽會展覽會其の他の依頼に應じ、發明、考案及工業所有權に關する出品事務の處理

九、工業所有權に關する公報閲覽所の設置

十、發明及實用新案の效果の證明

十一、會報其の他刊行物の發行

十二、其の他評議員會の決議を經て本會の目的を達するに必要なりと認めたる事項

第二章　會員

第六條　會員を分ちて左の五種とす

一、通常會員

二、特別會員

三、維持會員

四、有功會員

五、名譽會員

七條　通常會員、特別會員及維持會員は左に依り會費を納付すべし

一、通常會員　一時に金五十圓以上又は毎一箇年金六圓

二、特別會員　一時に金二百圓以上又は毎一箇年二十四圓

三、維持會員　毎一箇年金一百圓以上

第八條　本會に有力なる援助を爲したる者又は工業所有權其の他産業の發達に關し功勞ある者にして理事會の推薦に依り入會したる者は之を有功會員とす

第九條　工業所有權其ノ他産業の發達に關し功績顯著なる者又は學識名譽ある者にして理事會の推薦に依り入會したる者は之を名譽會員とす

第十條　本會の趣旨を翼賛する者は何人と雖も入會することを得

入會せんと欲する者は書面を以て申出で會長の承認を受くべし

第十一條　退會せんと欲する者は其の旨本會に屆出づべし

第十二條　會員にして本會に對する義務を怠り又は本會の體面を汚すべき行爲を爲したる者は評議員會の決議に依り之を除名することを得

第十三條　會員其の資格を喪失したる場合に於ても既に納付したる會費は之を還付せざるものとす

大連より長崎鹿兒島行
(毎十日目出帆)
—九州への最短連絡航路—

千歳丸

大連發　八月卅日午前十一時(廿一番バース5出帆)
長崎着　九月一日正午
鹿兒島着　九月二日午前十時

	長崎	鹿兒島
一等	三二圓	三八圓
三等 寢臺室甲	一七圓	二〇圓
廣間ソーファ附室	一五圓	一八圓
廣間室	一四圓	一七圓
三等乙	一二圓	一五圓

滿鐵主要驛にて船車連絡切符を發賣します

近海郵船代理店
日本郵船大連出張所　電三七三九。七八四六
二商會丸　電四二六四。五八八八
ジャパンツーリストビユーロー

藝演と映画

長春座は二十七日から桂憲一郎一派の浪曲劇と劍劇といふ近頃珍なものを開演したが、久しく映畫ばかりのところだつたから相當人氣をあつめてゐる、料金は大衆向きで各等一圓均一學生軍人半額　小人五十錢で時代劇、劍劇などの面白いところをみせるさうである、因に興行期間極めて短かく、廿八日の晝夜限りとなつてゐる

時計　賣爺屬　森洋行　中央通　電三八七三　特約加盟店

海の外から

世界一の大木が　老の勢で折れた

亭々として雲表に聳える世界第一の大木米國加州の山奧にあつて四十人の大人がお手々つないで廻して來だ不足するといふ太い大木が去月、老齢その直立に絶えず根本からポキンと折れた

十二億燭光の怪物　サーチライト現る

米國の紐育に最近出來た光の怪物—なんと十二億燭光もあるサーチライトが建物の屋上二百五十尺の高さに備へ付けられた、これは百里の遠方まで照すので一見紐育市の所在を遠隔の地から認知することが出來夜間航空飛行などには好適のライトであると

世界一の大眞珠貝

過般地中海の沿岸で眞珠貝採取作業中、蒐集した大眞珠貝の一つを開いて見たら、實に二十三個の大小眞珠が中にあつたといふので目下大評判、直徑四吋の大きさを有し見事な點で世界一と折紙を付けられてゐる

秋季競馬　第一日殘り成績

第一日八月廿六日(日曜日)　賽馬成績

第八競馬(一一頭)一六〇〇米
(一)襄文(騎手高尾)二分三三秒四　(二)第二壽　(三)寶滿
配當(復)(一)三圓五〇錢　(二)四圓二〇錢　(三)一七圓二〇錢　(單)四圓一〇錢
搖彩票　一等　四六五圓九〇錢　二等　一三三圓一〇錢　三等　六六圓五〇錢　等外　二〇圓八〇錢

第九競馬(九頭)一八〇〇米
(一)一(騎手城內)二分三六秒三　(二)松月　(三)南洲
配當(復)(一)三圓九〇錢　(二)六圓七〇錢　(三)一〇圓七〇錢　(單)三圓八〇錢
搖彩票　一等　五一九圓六〇錢　二等　一四八圓四〇錢　三等　七四圓二〇錢　等外　三〇圓九〇錢

第十競馬(一〇頭)一六〇〇米
(一)天勝(騎手高尾)二分三一秒三　(二)第三神風　(三)玉椿
配當(復)(一)四圓四〇錢　(二)四圓二〇錢　(三)四圓一〇錢　(單)七圓三〇錢
搖彩票　一等　六九八圓八〇錢　二等　一九九圓六〇錢　三等　九九圓八〇錢　等外　三五圓六〇錢

第十一競馬(一一頭)二二〇〇米
(一)丹生(騎手城內)三分四秒　(二)谷風　(三)大郡
配當(復)(一)三圓六〇錢　(二)三圓　五錢　(三)二一圓五〇錢　(單)三圓六〇錢
搖彩票　一等　八八六圓一〇錢　二等　二五三圓一〇錢　三等　一二六圓五〇錢　等外　三九圓五〇錢

第十二競馬(一一頭)一六〇〇米
(一)高雄(騎手　)二分二秒四　(二)奴　(三)鶴
配當(復)(一)三九圓六〇錢　(二)六圓三〇錢　(三)五圓三〇錢　(單)一二五圓二〇錢
搖彩票　一等　八七六圓〇〇錢　二等　二五六圓〇〇錢　三等　一二八圓〇〇錢　等外　四〇圓〇〇錢

第一三競馬(七頭)一八〇〇米
(一)天祐(騎手中野)二分四九秒　(二)第二久慈
配當(復)(一)五圓〇〇錢　(二)四圓四〇錢　(單)七圓八〇錢
搖彩票　一等　四七三圓六〇錢　二等　一一八圓四〇錢　等外　二九圓六〇錢

第一四競馬(三頭)二〇〇〇米
(一)春勇(騎手原田)三分七秒三
(單)三圓八〇錢
搖彩票　一等　二三八圓九〇錢　等外　二九圓八〇錢

ラヂオ欄

二十八日(火曜)新京

前　六、〇〇　ラヂオ體操(東京より)
同　六、二〇　ラヂオ體操(滿語)
同　六、四〇　滿語講座
同　七、〇〇　日語講座　講師　高宮盛逸
同　七、二〇　同　植松金枝
同　八、〇五　ニュース(日語)
同　一〇、四〇　經濟市況(東京より)
同　一〇、五九　時報、レコード
同　一一、三〇　ニュース(滿語)
同　一一、四〇　ニュース　經濟市況(東京より)
後　〇、〇五　經濟市況(奉天より)
同　〇、三〇　演藝レコード(滿語)天順班　翠紅
同　二、〇〇　日用品値段(滿語)
同　二、四五　ニュース(日語)
同　三、二〇　ニュース(日滿語)
同　三、三〇　經濟市況(奉天より)
同　四、〇〇　官廳ニュース(滿語)
同　四、三〇　ニュース(滿語)
同　四、四〇　ニュース(鮮語)
同　四、五〇　ニュース(英語)
同　五、〇〇　子供の時間(東京より)
齊唱と合唱　JOAK唱歌隊
ピアノ伴奏　丹生健夫
指揮　吉原規
一、齊唱　イ、夏の夜　ロ、蚊の小夜樂　ハ、今宵の月　ニ、瀧　ホ、かもめ
二、合唱　イ、山のうた　ロ、磯の月　ハ、夕涼み　ニ、月の御舟
同　五、二〇　コドモの新聞(東京より)關屋五十二
同　五、三〇　時事解説(滿語)
同　五、五五　氣象通報番組番告(滿語)
同　六、〇〇　ニュース(東京より)
同　六、三〇　藝談十二選(七)大阪より曾我の家五郎「私と喜劇」(東京より)
同　七、〇〇　哥澤(東京より)
一、いろけ唄　哥澤寅滿喜
二、闇の花　三味線　哥澤寅絹
同　七、一〇　俚謠(長崎より)　唐人囃子　長崎檢番運中
同　七、三〇　落語　橘の圓(東京より)
同　七、五五　常磐津(東京より)　常磐津和佐太夫
同　八、三〇　時報ニュース(東京より)
同　八、四五　ニュース
氣象通報、番組豫告
同　九、〇〇　演藝　ニュース(滿語)　奴玉班　滿堂
同　九、三〇　長唄
新曲浦島　坪內逍遙作詞　杵屋六左衛門・杵屋勘五郎作曲
唄　岡安喜代登幾
同　岡安喜代秀
同　岡安喜代艶
三味線　杵屋十七郎
同　岡安喜代八重
同　岡安喜代枝

ラヂオの御用は東京無線へ　電四九二〇

ニッポンタロウ　海底旅行の巻

(1)
タコガシンデシマツタノチミテ、イカモヤウヤク、イワカゲカラデテキタ。コレデワタクシドモハ、ドンナニタスカルカシレマセン、トヨロコンダ。ウン、チヨツトホネハオレタガ、モウコレカラハシンパイナイ。ミセシメノタメニ、コレハモツテユカウ。

(2)
ニツポンタロウハ、イカヲツレテ、オホダコノシガイヲチカツイテ、アルキダシタ。コレヲミテ、イマヽデ、コノオホダコニイヂメラレテヰタ、イロ〳〵ノサカナガソロ〳〵トツイテクル。ミンナコイ〳〵トウ〳〵ヲルダコガメイロウサレタヅ……

鮮魚小賣相場

品名	値	品名	値
活鯛	一、七五	チヌ鯛	四五
小鯛	六六	ニベ	三二
ヒラス	四五	サハラ	三四
スヽキ	二六	サバ	二〇
アジ	一二	カレイ	一七
ヒラメ	三六	ボラ	一四
コノシロ	二三	キス	四二
イワシ	二一	タチウオ	三〇
赤貝	一二	フカ	七
タコ	三五	イセエビ	一、〇〇
車エビ	一、四五	コエビ	八五
カニ	一八	ハモ	三二
シラオ	三四	アワビ	六六
カキ	三〇	ハマグリ	六
シジミ	八	カマボコ	三二
ギザミ	二五	オバ	三六
ワナギ	九五	マグロ	一一〇

日本の聖女（納上前）

生田葵　作

一九二

破牢（四）

「こいやおのれ、牢獄の鍵を奪つて何とする」

その役人は、腰の刀に手をかけた。

その一瞬、幸太郎が横合からとびかゝり、懐中に隠し持つたあひくちでむなもとを突き刺した。

「アツ」

聲を立て、刺された役人は其處へたふれた、今一人の役人は、さつと後へ身を引き、背を見せてかけ出したと思ふと、

「牢獄破りで御座る、お牢獄破りで御座る」

のどもわれよとばかり大聲をあげて、人を呼ぶのであつた。

と、その時彼方の高塀の切戸口から其處の塀中へかけ込んで來たのは、火つけ仕事をすつかり總へた又蔵と、その配下の者達であつた。

「又蔵その役人をにがすな。のしちまへ」

吉兵衛が此方から聲をかけた。

さうでなくてさへ、一目でその場の光景を見て取つた又蔵は、自分の這入つて來た所から今しも逃れ去らうとする役人のそばへ寄つたと見ると、もうその役人は前のめりに又蔵の佇止つた身體へとたふれかゝつた。

それは目もとまらぬ早業であつた。

又蔵はいつの間にかあひくちを手にして居る役人をやつゝけてしまつたのである。

又蔵が身體を少し[illegible]すと、息の絶えた役人の身體はどさりと地上に落ちた。

鍵を奪ひ取つた總五郎は、もう何時の間にか牢獄の扉前の錠を開けて居た。

すると四角い出入口から一番にとび出して來たのは、髪も髯も生えはうだいにぼうぼうのばした卅五、六才の、人相の悪い男であつた。

その獄衣のえりもとをぐつと取つたのは、幸太郎で、今役人を殺めた血染の短刀を鼻先へ突きつけた。

「一郎逃がしてやるから、もう一ぺん内部へ這入つて、森村歡之丞とおつしやる方を此處へおつれ申せ」

幸太郎に血染の短刀を突き付けられたその囚人は、吃驚りして、牢内へ退いて行かうとしたが、外の火事騒ぎは既に牢獄内の囚人一同に知れ渉つてゐたので、錠前が外されて入口が開くと、我れ先に出やうと一時に入口前に犇き寄せて來たのに遮られて、何うすることもならなかつた。

それと見た吉兵衛は、

「其奴放してやれ、囚人を出した方が役人を面喰はして却てよからう」

幸太郎が取つた襟首の手を放してやると、その囚人は勇み喜んで勢ひよく駈だして行つた。

後から後からと牢獄内から飛出して來る囚人は續き、それこそ籠の中から放された鳥のやうに無鐵砲に何處ともなく駈けて行く。

その間にも幸太郎初め吉兵衛も眼を光らして森村が出て來る姿を待つたが、それらしい姿はあらはれて來なかつた。

「森村歡之丞殿、お迎へに參りました、早く、お出ましを願ひます」

幸太郎が聲をいらち、大音聲を張上つて、牢獄内へ呼びかけた。

「森村歡之丞は此處にゐる今其處へでて行く」

入口近くから聲が傳つて來た。

森村歡之丞にしても早く外へ出たいらしいのだが、入口にもみ合ふ囚人に妨げられてゐる容子が、その聲音から察せられた。

○……

○……